

建築関連職種の体験授業6 表具



1年生工業技術基礎の授業に、松清堂 岩崎先生から指導を受けることができました。岩崎先生は、屏風、掛軸、額の表装をはじめ、文化財の修復なども手掛ける江東区無形文化財の表具経師です。

この日は、お弟子さん二名もいらしてくださいました。

日本の住宅内から、障子や襖という日本建築に欠かせない建具が少なくなっている現在、このような表具の体験はとても大切な時間です。日本建築への理解を深めることができる授業でした。

ご指導ありがとうございました。

尺や寸という日本建築で用いられる寸法についての説明を聞いた後、寸法の物差しを使い方を学びました。



本日は、お茶室の障子で使われる「千鳥貼り」をするため、障子全体の貼り方を考えた後、寸法を測り、和紙の継目位置を決めました。その寸法にあわせて和紙の大きさもカットしました。



カットすること、刷毛の使い方など、今まで扱ってきた方法と違うことに戸惑いながら体験できました。